

発達障害について

愛媛大学地域医療再生学講座
四国中央病院 小児科
新野亮治

はじめに

私は少しADHD傾向があります。
小学校では毎日忘れ物をして怒られていましたし、
物を整頓することが苦手です。
とにかく同じ仕事を丁寧に繰り返すという作業が一番苦手です。
考えが散らかる一方で多方面に興味を持てる。
発達障害の方は、苦手なことも多いけど、
向いてることに出会えば特性をいかすこともできます。
発達障害の人こそ、自分の得意なこと
不得意なことを把握するのが大事と考えます。
今回は発達障害に関してざっくりとお話させていただけたら
と思います。

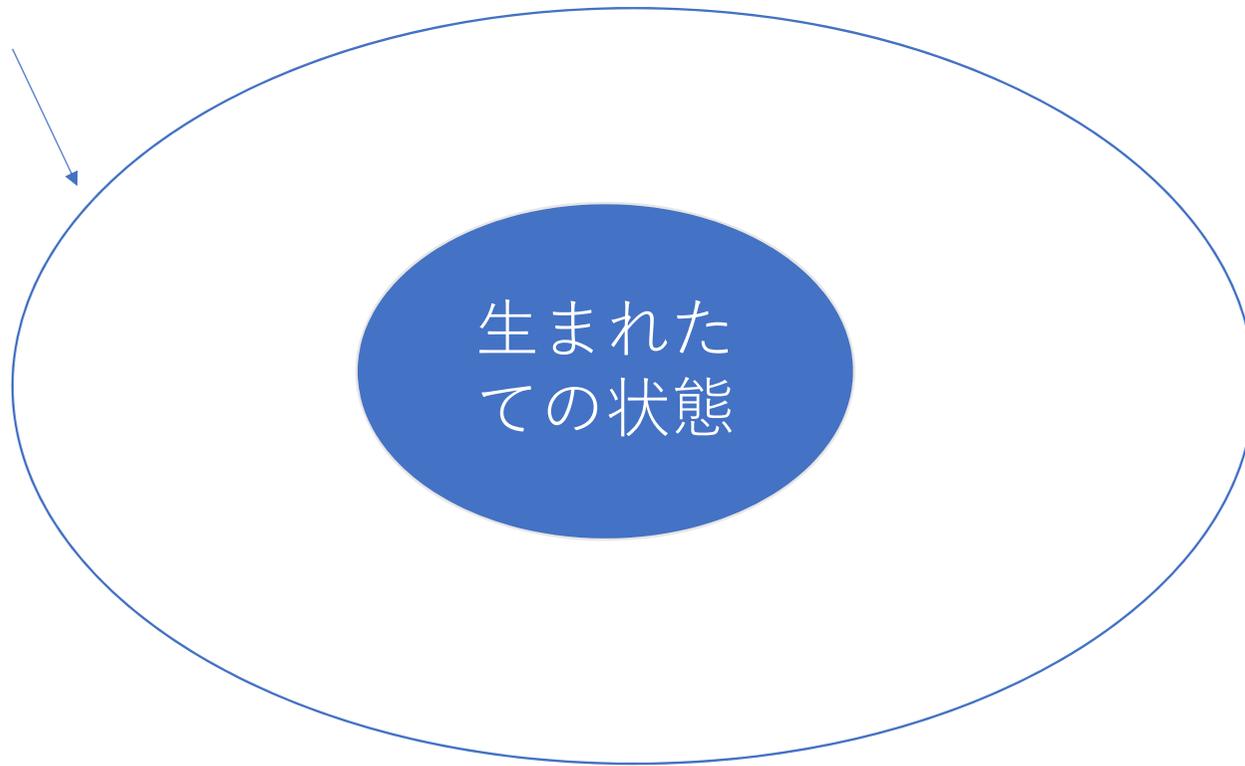
どこからが発達障害ですか

A	A	普通 っぽい
D	D	
H	H	
D	D っぽい	

病名も大事だけど、
最初のうちは実際に何に困っているのか
それに対する対応をどうすればいいのかが大事

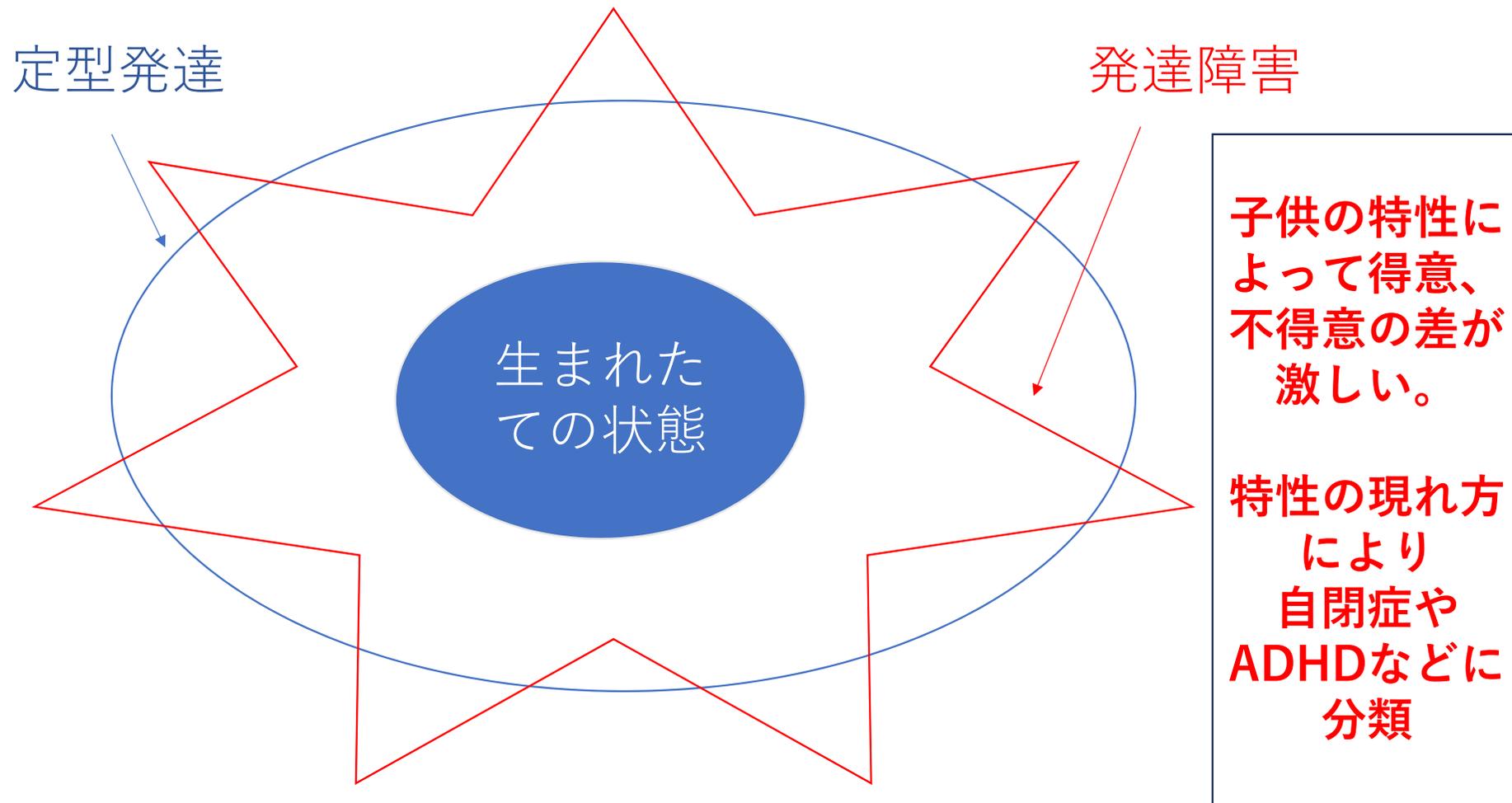
発達障害の考え方

定型発達

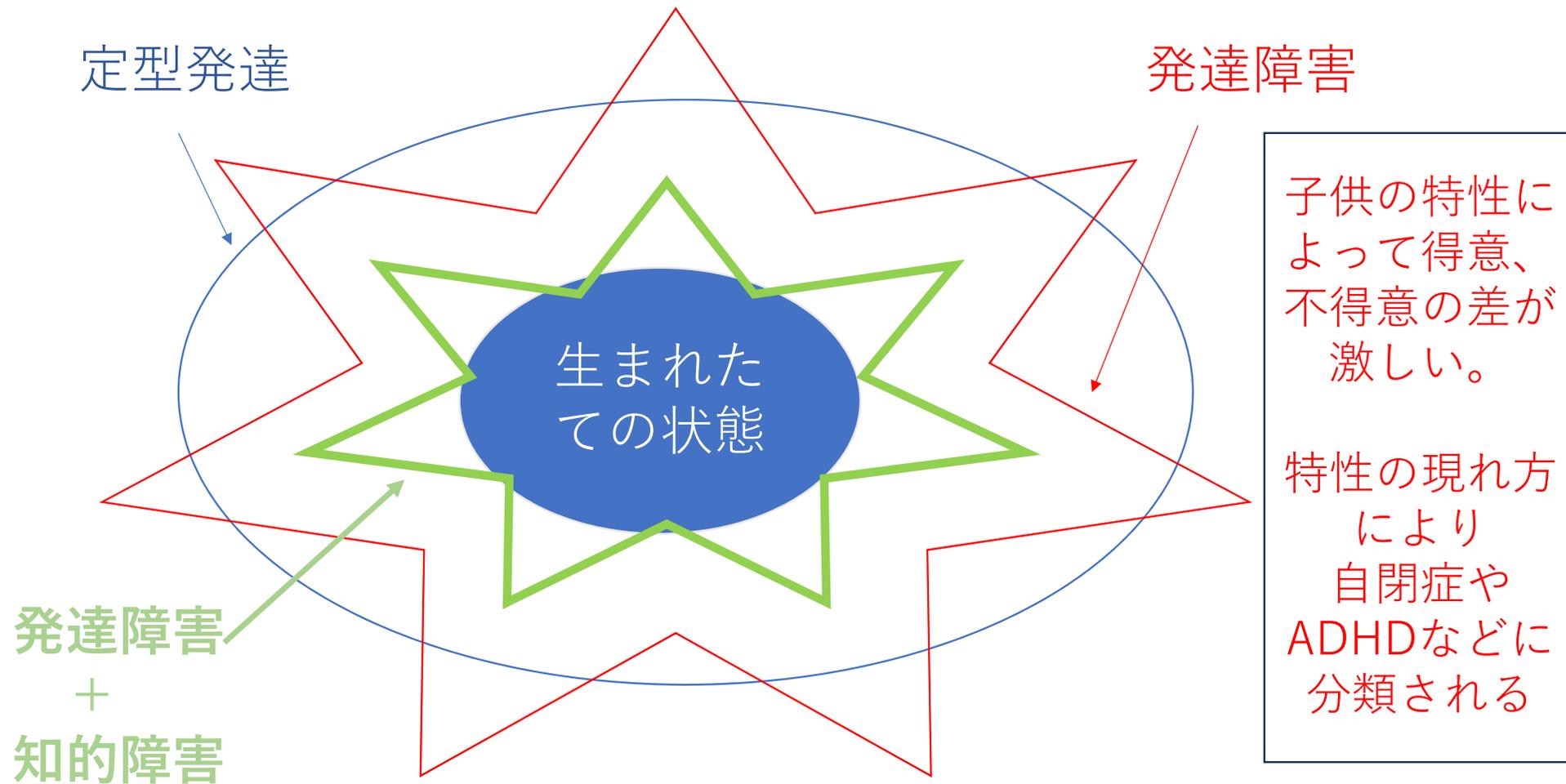


生まれた
ての状態

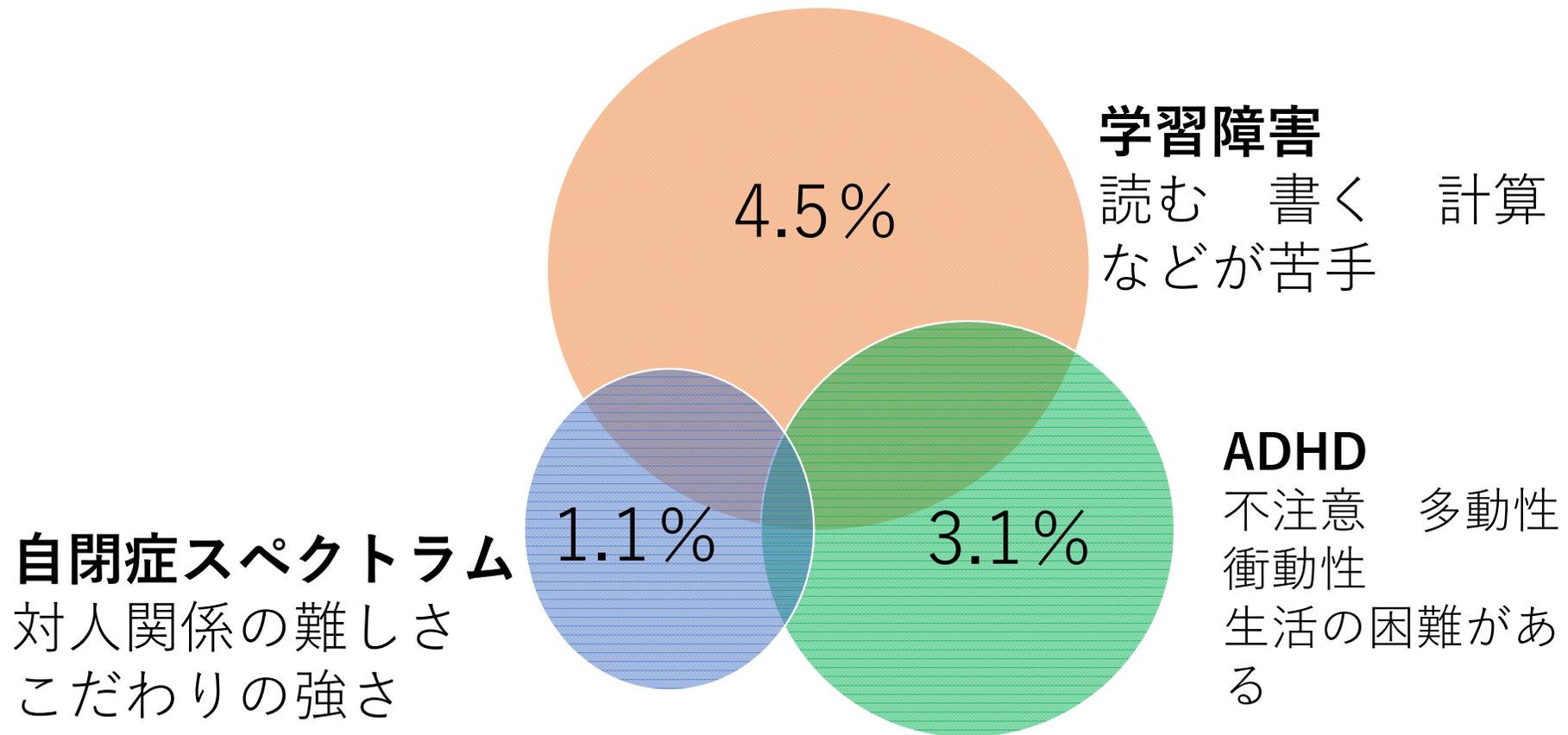
発達障害の考え方



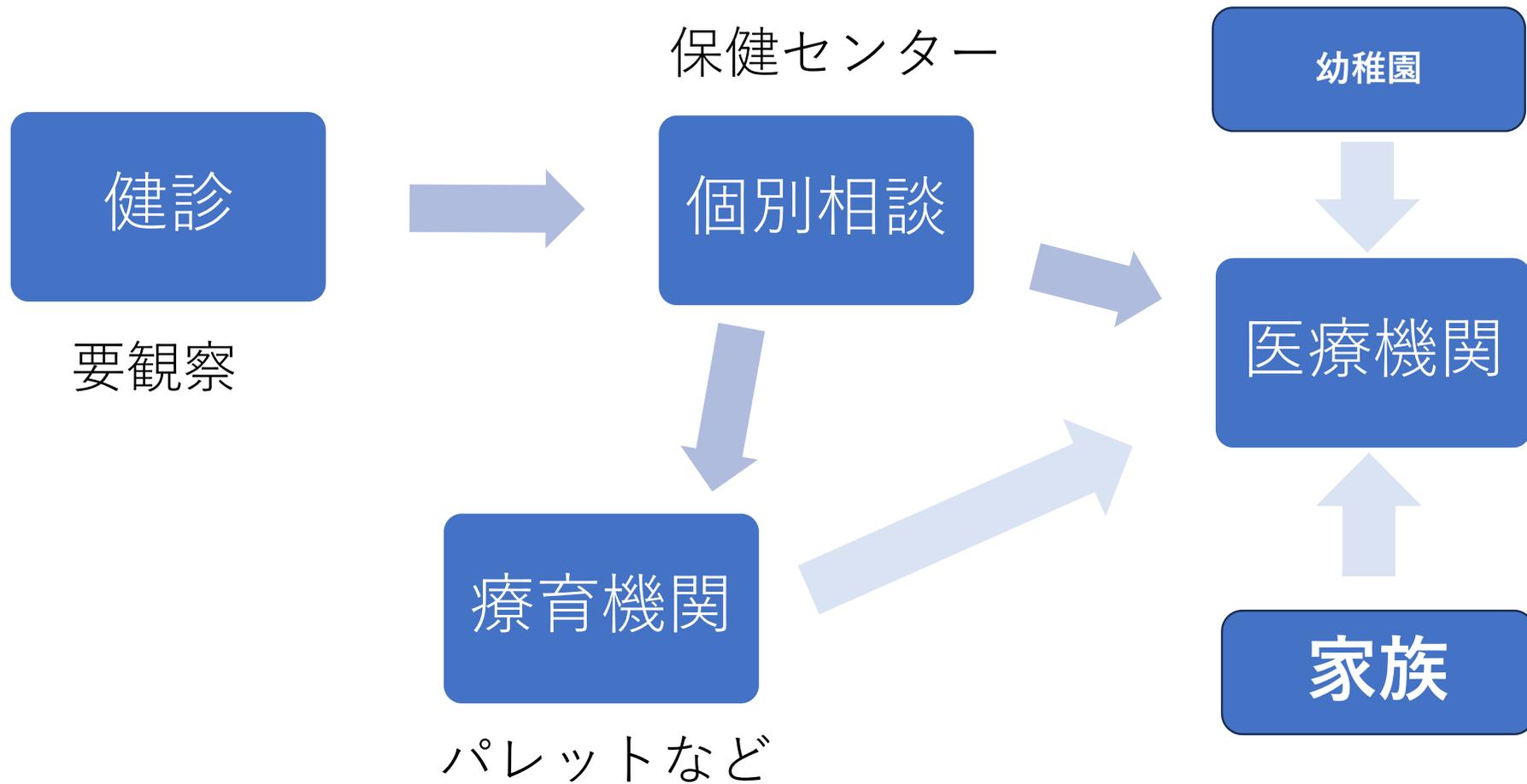
発達障害の考え方



発達障害疫学（2012年 文部科学省）



医療機関への流れ



医療機関に受診する前に

① こどもの生活で気になること、聞きたいことを紙に書いておく

② 成育歴がわかる情報を持参する

母子健康手帳 育児日記 幼稚園の連絡票 通知表の持参

③ 心構え

初診の際は気負わない

障害名を宣告されるというより、日常の困難解決の相談と考える

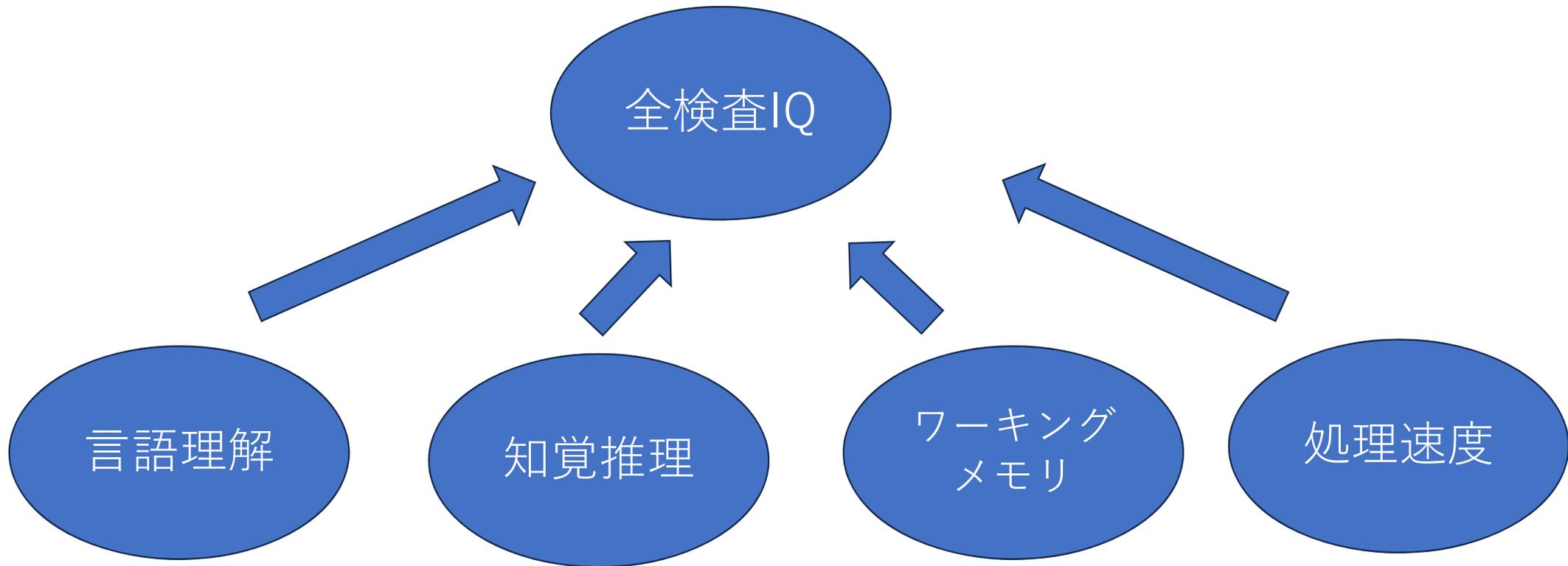
病院での診断の流れ



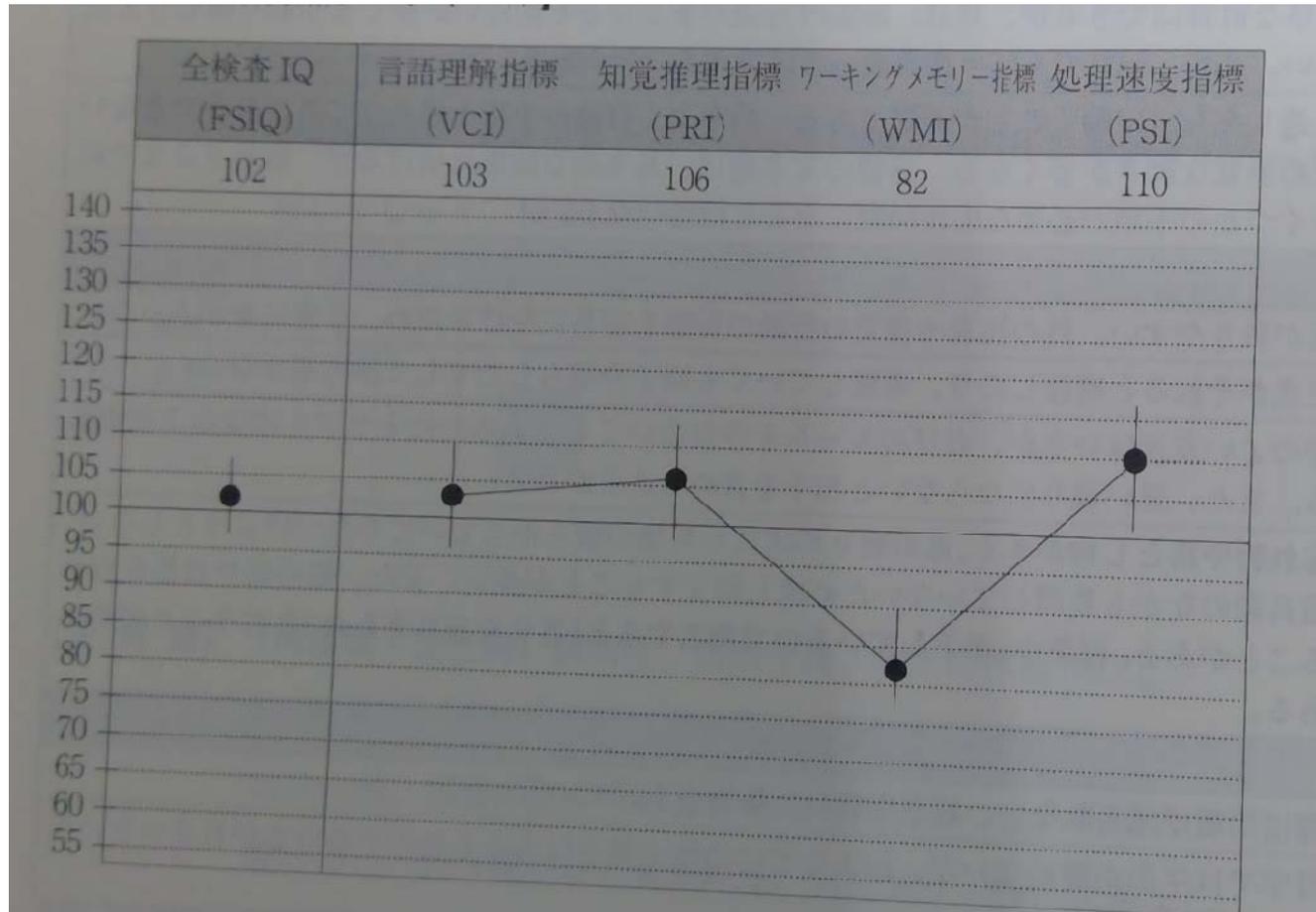
WISC検査
など

WISC検査の説明

1-2時間程度、質問に答えたり、課題を行ったりする



WISC結果



WISCによる発達障害の
アセスメント

病院受診での注意点

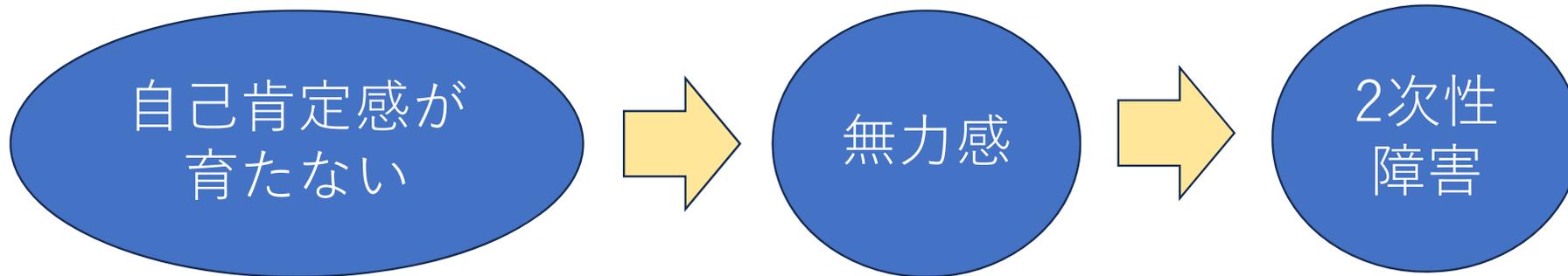
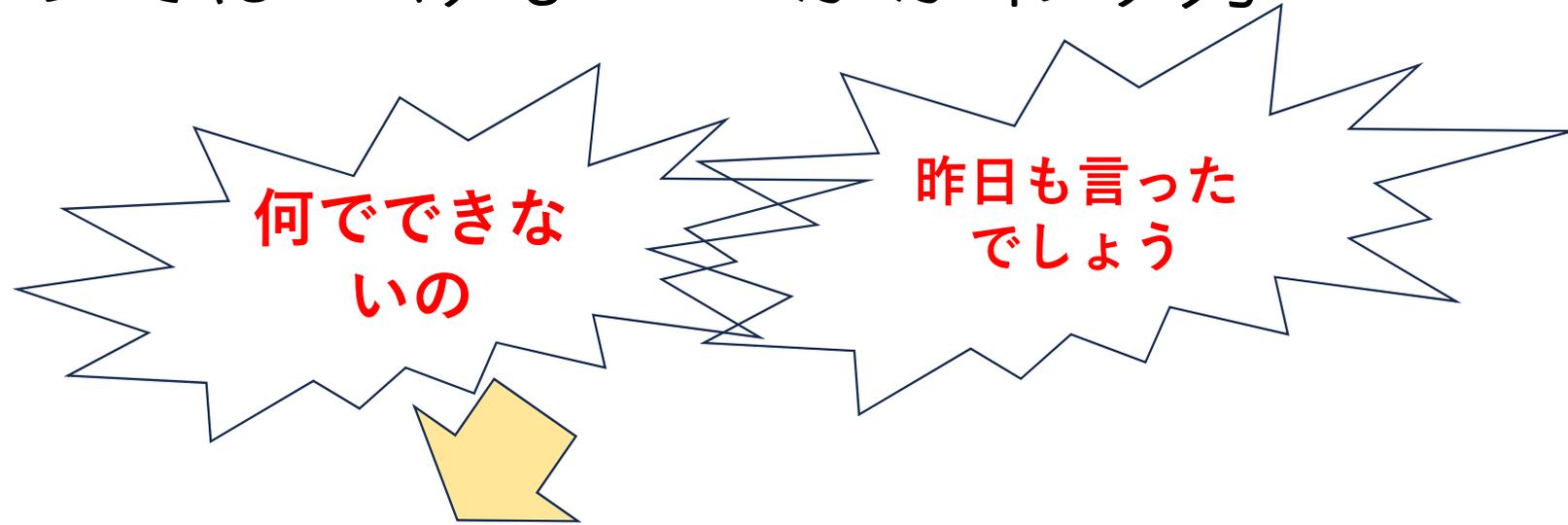
病院受診すればすぐに診断がつくわけではないです。
実際にはリハビリの様子や診察を重ねることで診断をつけていく

一般的には

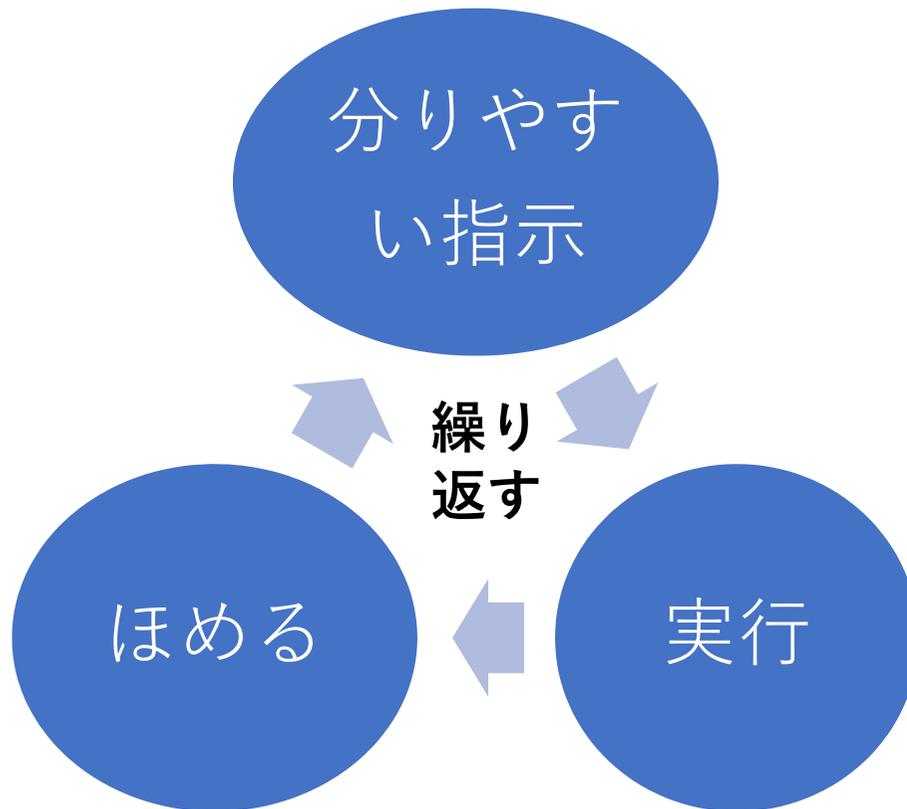
自閉症 3-5歳（人によっては1歳6か月検診でも）

ADHD 5-6歳で診断がつくことが多いです。

やっではいけない かかわり方



ほめほめ作戦



- ①課題達成までの道のりは小さく
(例) 着替えを一人でできた
野菜を食べた
トイレに行った
- ②ほめることの見える化
(例) できたらシールをはる

これからそれぞれの主な発達障害3つ

ADHD

自閉症スペクトラム

学習障害

各々について説明していきます

の前に…

まずは家族自身がしんどくなりすぎていませんか？

外来をしていると、子供の特性のため子供との関りが上手くいかなくて
すごくしんどくなりすぎている家族の方を見かけます。

上手くいかなくて当たり前、ましてや親の教育が間違っていたわけでは
決してないです。投げ出さずに頑張っていて、すごいなと
自分は尊敬をしています。

あまり考えすぎずに、**今やれる範囲でできることだけ**
やればよいと思うことが大事で、そう思うことで
ご家族自身が少しでも余裕ができれば
必ず子供にもいい影響がでるのではと思っています。

ADHD

ADHD（注意欠陥多動症）とは

- ともかく動く 目が離せない
- おしゃべりで 恥ずかしくなるときも
- 忘れ物 なくしものも大変
- 生傷がたえない
- 喧嘩がたえず 寂しい思いをしている
- なんかい同じことを言っても聞いてくれない

ADHD 概要

子供で5% 大人で2.5%

- ①不注意 うっかり忘れる 気が散りやすい
- ②多動 じっとしてられない 手足もじもじ
- ③衝動性 ぱっと行動してしまう 順番をまてない

診断 A基準（不注意型） 6か月6個以上

- (a)学業、仕事、またはその他の活動において、しばしば綿密に注意することができない、または不注意な過ちをおかす
- (b)課題または遊びの活動で注意を持続することがしばしば困難である
- (c)直接話しかけられたときにしばしば聞いてないように見える
- (d)しばしば指示に従えず、学業、用事、または職場での義務をやり遂げることができない(反抗的な行動、または指示を理解できないためではなく)
- (e)課題や活動を順序立てることがしばしば困難である
- (f)精神的努力の持続を要する課題に従事することをしばしば避ける
- (g)課題や活動に必要なものをしばしばなくす
- (h)しばしば外からの刺激によって容易に注意をそらされる
- (i)しばしば毎日の活動を忘れてしまう

診断A基準（多動、衝動性） 6か月6個以上

- (a)しばしば手足をそわそわと動かし、またはいすの上でもじもじする
- (b)しばしば教室や、その他、座っていることを要求される状況で席を離れる
- (c)しばしば、不適切な状況で、余計に走り回ったり高い所へ登ったりする(青年または成人では落ち着かない感じの自覚のみに限られるかも知れない)
- (d)しばしば静かに遊んだり余暇活動につくことができない
- (e)しばしばじっとしてない、または、まるでエンジンで動かされるように行動する
- (f)しばしばしゃべりすぎる

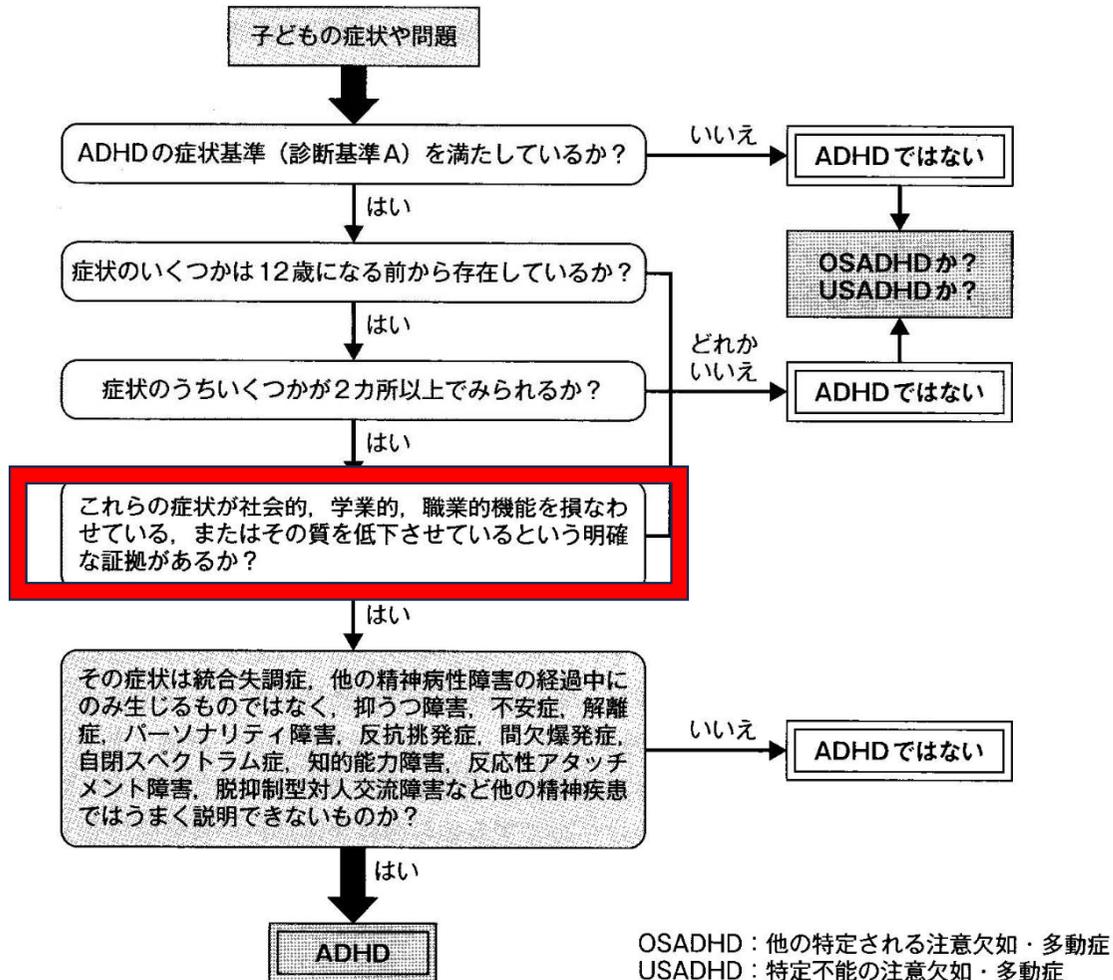
診断A基準（多動、衝動性） 6か月6個以上

(g)しばしば質問が終わる前に出し抜けに答え始めてしまう

(h)しばしば順番を待つことが困難である

(i)しばしば他人を妨害し、邪魔する(例えば会話やゲームに干渉する)

診断チャート (DSM-5)



幼児における診断はかなり難しい。
走り回る3歳児はADHDですか？

診断基準だけで評価は難しい
実際にどれくらい困っていますか？
診断には注意深い観察が必要

ADHDの治療

- ①かかわり方
- ②環境調整
- ③リハビリ
- ④薬物

関わり方

①怒ってもできないものはできません

叱らずに、どんな小さなことでも具体的にほめる

→上手な対応とは 子供の行動を3つに評価する

(1) 望ましい行動 → 承認 賞賛 感謝のどれかを伝える

(2) 減らしたい行動 → 選ぶべき行動を示してから無視をする

(3) 危険な行動 → おだやかな声で1度だけ警告をする

警告に従わなければペナルティを

行動を修正できたら、承認 賞賛 感謝をのべる

環境調整

つまづかない環境をつくる

自宅で勉強する際は、周囲の刺激を減らす

(テレビを消す、物を減らす)

できたらシールを張るなどの達成感の見える化

チェックリストを作ってみる

リハビリ

違う動きを同時に行うような強調運動をすること
(例 ボタンを閉める 縄跳びをする)



①注意力があがり ②感情をコントロール

できるようになる場合がある

ADHD薬の分類

6歳以上から

	コンサータ	インチュニブ	ストラテラ	ビバンセ
内服回数	1日1回	1日1回	1日2回	1日1回
持続時間	12時間	24時間	24時間	12時間
効果発現までの期間	数日	1~2週間程度	1~2か月程度	数日
出現しやすい副作用	食欲低下・体重減少 不眠	眠気 血圧低下	頭痛 吐き気	食欲低下・体重減少 不眠
流通規制	あり	なし	なし	あり

自閉症

スペクトラム

自閉症スペクトラム 特徴

①人とのかかわりが難しい

相手の表情から感情を読み取るのが苦手

特有のこだわりがある（道 時間割）

常動性（反復性を好む 同じ動作を繰り返す）

感覚過敏（音が怖い 人に触れると痛い）

言葉の遅れがあったりする

発達性強調運動障害がある（異なる動作の連動）

概要

全体をとらえにくい

→自閉症のこどもの感覚を体験してみましょう

(例) 電車のおもちゃを眺めていても実は

(電車の車輪がぐるぐる回る様子) だけを見ている。

- 特定のものがクローズアップされているので、
こだわりや感覚の過敏さが生じやすい

早期発見のポイント 乳幼児期

- ①あやしても笑わない 抱っこを嫌がる
- ②人と視線をあわさない
- ③後追いしない
- ④名前をよばれても気づかない 指さしをしない クレーン現象
- ⑤ことばの遅れ（アスペルガーを除く）
- ⑥常同行動（ある場所を行ったり来たり ドアの開け閉め）
- ⑦特定の場所にこだわる
- ⑧ごっこ遊びができない

自閉症診断

- A.以下の(1)(2)(3)の基準を満たすこと。

(1)以下の少なくとも2つ以上の症状による社会関係の質的な障害

(2)以下の少なくとも1つの症状によるコミュニケーションの質的障害

(3)以下の、限定・反復的な型にはまった動作、関心、行動などが少なくとも1つあること



- B.3歳以前にはじまる以下の1つ以上の領域における機能の異常、あるいは遅れ



- C.これらの症状が、レッド症候群や小児崩壊性精神病では説明できないこと

- 上記をすべて満たす

治療の基本は療育

自閉症の2次的な症状に対しての薬はありますが
特性自体を治す薬はありません。

自閉症の子供は社会的なルールが理解できない



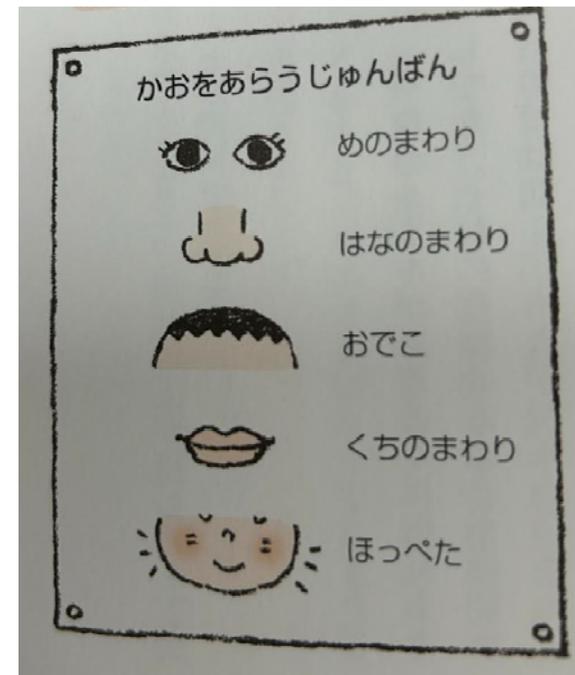
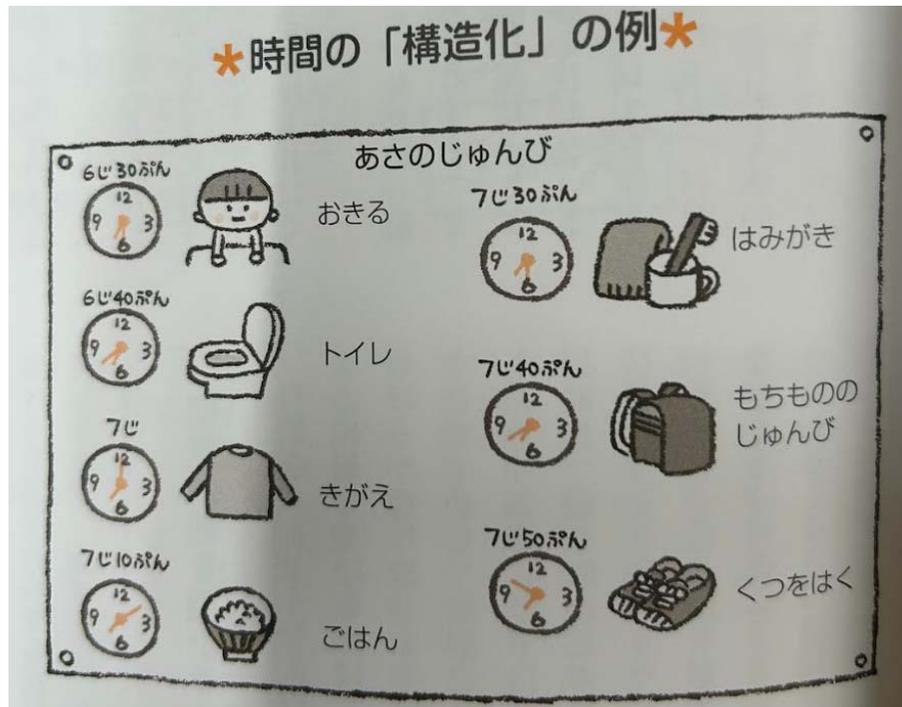
こういう場面ではこんな風に行動するとよいという方法を
マニュアル化して覚えていく
ルールとして覚えていく

関わり方

- ①一般のルールを強要しない
(つよいこだわり 折り合いをつけられる範囲で)
- ②おだやかな口調で話しかける (過敏性)
- ③子供の感情を言葉で表現してあげる
- ④指示や説明は簡潔に (×あいまいな表現)
- ⑤変更は前もって知らせる
- ⑥得意なことを伸ばしてあげる (自尊心を伸ばす)

いっぱいほめてあげてください

行動の見える化



學習障礙

こんな症状がある

- ①会話できるけどひらがなの文字がよめない 小学3年生
うでどけい→うでど、けい ちっとも→ちよっとも
- ②漢字が書けない 中学1年生
競→狭になったりする
- ③長い文章をよんで理解するのが難しい 小学4年生
すらすらよめるが 内容は理解できていない
- ④計算やグラフの課題ができない 小学6年生

読み書き困難の原因

スキルの未発達

→サポート次第でのびる

- ①論理的思考の弱さ
- ②語彙の不足
- ③部品意識の弱さ
漢字を部品にわけて覚えるのが苦手

認知機能の弱さ

→変わりにくいので他の方法でサポート

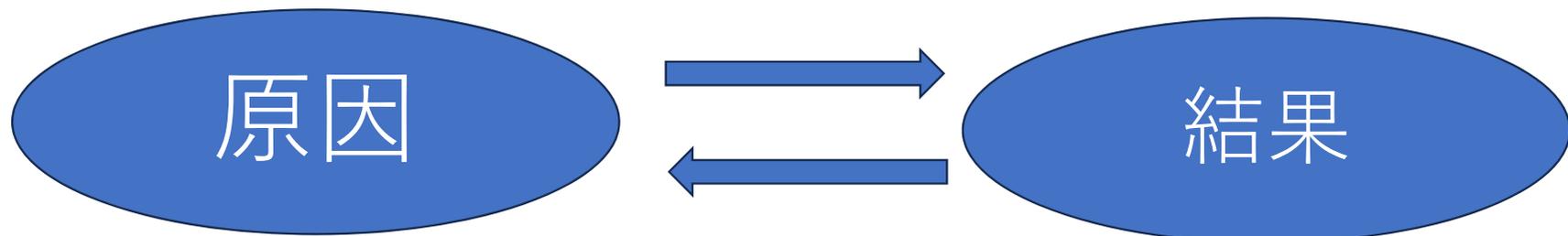
- ④音韻意識の弱さ
- ⑤視覚認知の弱さ
単語をかたまりと認知できない
- ⑥聴覚認知のかたより
- ⑦記憶の弱さ

①論理的思考の弱さ

長い文章をすらすら読んでいるが要点が分からない
情報処理ができない

対応

因果関係を分かりやすく図示する



②語彙の不足

使いこなせる単語がなかなか増えない
なんでも（あれ）などの単語で済ませる

対応

覚えにくい単語のカードを作り、反対の意味の言葉はなどの
クイズ形式で覚えていく

LDの全てがわかる本



③部品意識の弱さ

漢字の部首やパーツが覚えれない

対応

難しい字は分割し部品にして見せる
ホワイトボードなどで空欄にして
訓練する

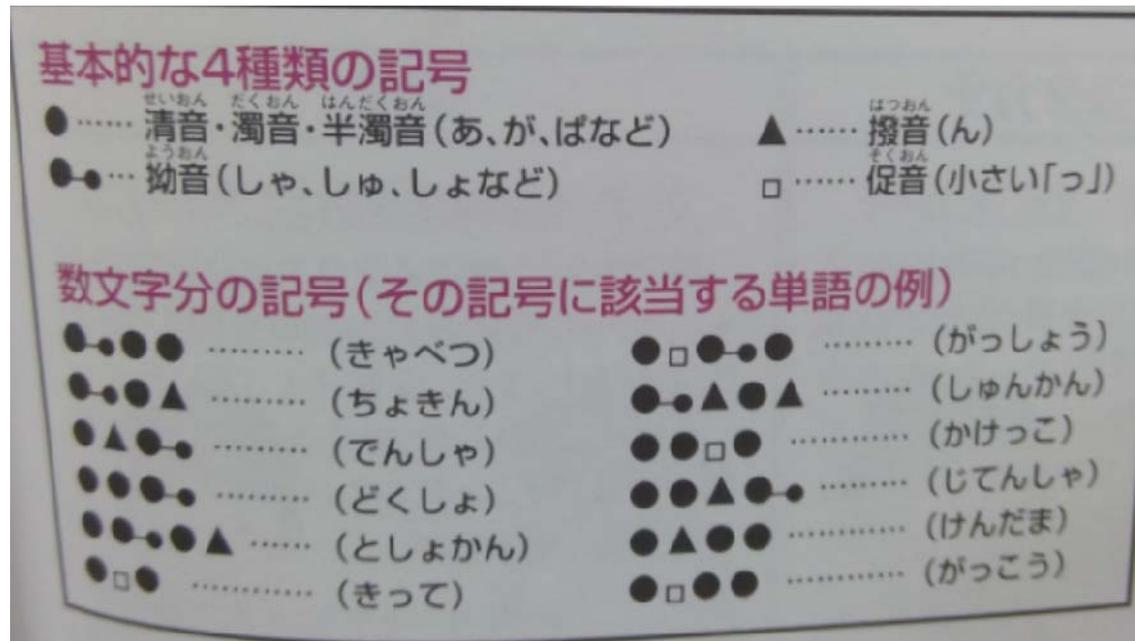


LDの全てがわかる本

④音韻意識の弱さ

文字と音の変換が上手くいかない
(例) でんしゃ→でんしゃ

対応法
音を視覚化する



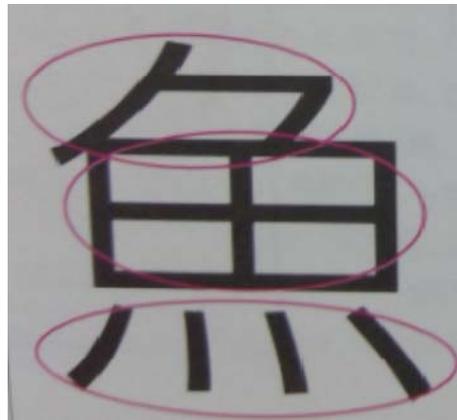
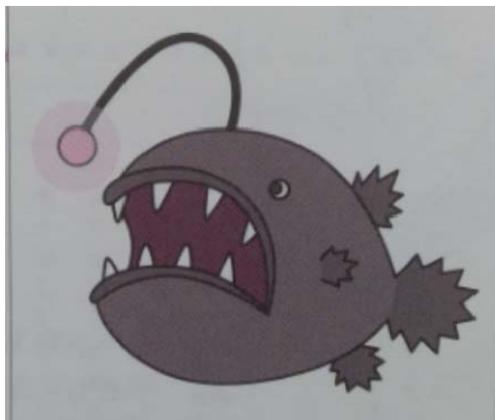
LDの全てがわかる本

⑤視覚認知の弱さ

文字や単語をすぐに見分けない
見間違いや見落としが多い

対応法

文字をイラストで覚える

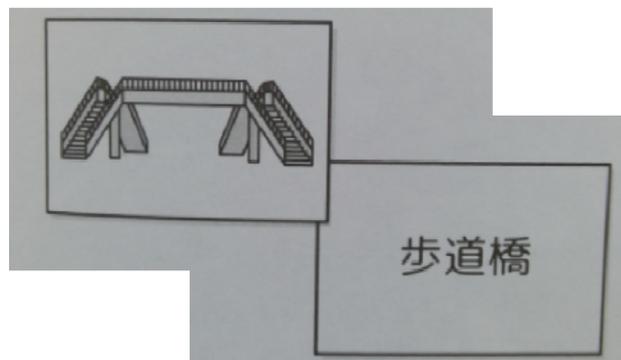


⑥聴覚認知のかたより

音の聞き分けが苦手
外国語を聞いている感覚

対応

漢字の読み方を絵と組み合わせて学ぶ



LDの全てがわかる本

⑦記憶の弱さ

短期的な記憶の保持が弱い

対応

単語とエピソードを結び付ける



まとめ

- ①まずは家族が楽になること
- ②こどもの特性をしる
- ③よりよい環境調整
- ④よりよいかかわり方

たくさんほめてあげてください